レッスン：PYR NO.1(＊PYRはピラミッドの略です）

テーマ：部屋、3つのステージにおけるエクササイズ/　パート１

PYR No.1 KE3/N4

私の兄弟・姉妹たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　多くのレッスンでいつも説明したように、部屋の中にいる間、探求者がやるべき最初のこと、それは部屋にいる自分自身の存在です。部屋は現れの特定のレベルを象徴しており、それは守ってくれ、また同時にLifeの本質の表現が制限されていることを象徴します。部屋が現れを制限しているのでしょうか？現在のパーソナリティーの部屋の中には2つのサイクルの潜在的可能性があります。1番目、そして2番目のサイクルであり、部屋は地のエレメントのなかにあります。

　さて、それはあるレベルの現れを提供、あるいは象徴しており、ある1つのポイントから他のより高いポイントへ、2つのポイントがあります。さて、この部屋にはいくつのレベルの現れがあるでしょうか？無数のレベルの現れがあります。

　部屋はある特定のレベルの現れではありません。それはこの部屋のなかの全ての人間のためのものです。これら2つのサイクルにある全ての人間の現れがあります。

　前に5つのアークアエンジェルが現在のパーソナリティーに伴っているといいました。5つのアークアエンジェルのそれぞれが現在のパーソナリティーに与えるべき何かを持っています。それらのなかの3つはエレメントを担当する3つのオーダーです。火のエレメントを担当するミカエルのオーダー、水のエレメントを担当するガブリエルのオーダー、３つ目はエーテルと空気を担当するラファエルのオーダーです。勿論、空気はエーテルのなかで最も低いバイブレーションです。

　ですから５つのアークアエンジェルのオーダーのなかの３つはエレメントを担当しています。４番目はアークアエンジェルのウリエルであり、ウリエルは現在のパーソナリティーに他の３つが助けとして提供しているものを良く使用できるように、現在のパーソナリティーを助けており、他の３つのアークエンジェルのオーダーの仕事のコーディネーターです。

　**５番目のアークアエンジェルは守護大天使です。このアークアエンジェルの仕事は現在のパーソナリティーが経験を避けることができるように助けることです（勿論、もし法則が許せばですが）。また同時に現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークと協同で働きます。**

　ですから、現在のパーソナリティーの部屋のなかには私たちと一緒にこれら５つのアークアエンジェルがいます。部屋にいる間に現在のパーソナリティーが最初にやるべきこと、それは自分が部屋にいることを認識することである、と言いましたが、それはそれらのアークアエンジェルたちとつながるためです。彼らは現在のパーソナリティーがそれに成功するよう助けます。

　過去に、現在のパーソナリティーが部屋にいる間は現在のパーソナリティーがどの方向にフォーカスしても、地のエレメントにフォーカスすることになり、そのエレメントによって何が築かれようとも、現在のパーソナリティーはそのエレメントに魅惑される、と述べました。しかし、現在のパーソナリティーはまた肉体にも魅惑されます。

　ですから、部屋にいる間は、何がこの地のエレメントによって築かれていようとも、それは現在のパーソナリティーを魅惑します。そして私たちは真の価値のあるものにフォーカスしようとすべきです。つまり、何であれ現在のパーソナリティーが進化・成長、気づきの上昇へと助けてくれるものです。

　**部屋のなかでは現在のパーソナリティーは本能意識的意識のセルフエピグノシスまたは潜在意識的意識のセルフエピグノシスを現しています。現在のパーソナリティーは意識的には生きておらず、私たちは意識的に生き、地のエレメントにフォーカスすることをストップするべく努力する必要があります。**

Page2

 さて地のエレメントは汚れている、あるいは悪い何かでしょうか？答えはノーです。それは人間の無知の結果として人間が築き、創造したもので満ちています。それゆえにこのエレメントにフォーカスすべきではないのです。そのエレメント自体ではなく、そのエレメントの中にあるものが問題だからです。

　**現在のパーソナリティーが部屋を後にして、３番目のサイクルに入る時、現在のパーソナリティーはいわゆる意識的意識のセルフエピグノシスを現わし始めます。そのパーソナリティーは意識的に生き始めます。ですから、そのパーソナリティーは何が上向きで何が下向きかを認識できるようになります。**

　部屋にいる間は現在のパーソナリティーは、部屋のなかで気づきの上昇に向けてワークをスタートしない限りは、それがわかりません。

　それでは部屋にもどって、同調ではなく（同調は不可能です）それら４つのアークエンジェルに触れるようにしましょう…ウリエル、ミカエル、ガブリエルそしてラファエルです。それら４つに触れるためにワークしている間に、５番目は自動的に現れるでしょう。勿論、この努力のためにはそこに多くの注意を向け、心が静かでなければなりません。現在のパーソナリティーは穏やかで静かなステートに入り、このエクササイズにはそれらすべてが必要です。

**レッスン　PYR N0.1　エクササイズ１**

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…白い自分自身を見ます…自分の形の境界を感じます…あなたは純白の五芒星のなかで守られています…

　あなたは今どこかに立っているのですが、どこに立っているのかわかりません…しかしある方向に面しており、五芒星に助けられます…あなたには人間のイデアフォームの元型を意味する五芒星の助けがあります、その助けの結果として、徐々にあなたの前に白い光の輝きが見えてきます、その光はあなたから少し離れたところにある直立した表面から来ています…それは直立している正方形から来る純白の光です…

　それでは右に90度回転し、今別の方向に向いています…そして五芒星の助けによって徐々に、その方向から来るもう一つの光が見えます、それは赤い光です…ですから、今あなたの前には赤いもう一つの正方形が立っています…それはあなたの前にあり、あなたから見て先ほどと同じ距離で、同じ大きさです…前の白い光の正方形と今の赤い光の正方形が90度の角度を形成しています…

　赤に向いている今の位置から更に90度右に回転し、別の方向に向きます…その方向に向いて立っていると、前とまったく同じように光が来るのがわかりますが、色はホワイトブルーです…前と同じようにホワイトブルーの光は目の前の正方形の表面から来ています、そして前の赤の光とこのホワイトブルーの光でもう一つの90度の角度が形成されています…

　それでは左に180度回転し、今再び前の純白の光に面しています…その位置から左に90度回転します…今はまったく何も見えません、しかしその方向にフォーカスしていると徐々にその方向の正方形から別の光が来るのがわかります…それはウルトラバイオレットの輝きです…

　そしてその光の面は白い光の面と90度の角度を形成し、またホワイトブルーと別の90度の角度を形成しています…それでは再び右に90度回転し、今再び純白の光に面しています…

　今、正面には純白の光が、あなたの右には赤い光が、後ろにはホワイトブルーの輝きが、そして左にはウルトラバイオレットの光があります。あなたの周りには4つの光の面があり、それらは実際に部屋の壁であり、あなたはその部屋のなかにいます…

　あなたは床の上に立っています、またこの部屋には天井もあります、あなたはこの部屋によって守られています…部屋のなかでとても快適に感じています…あなたが引き続き純白の光に面していると、徐々にある形がその純白の輝きのなかで形成されているのがわかります…その形、それは「人間のイデア」の形です、その形を形成している光は他の純白の光よりも濃くなっています…光の色はまったく同じ純白ですが、その光が濃密で濃くなっています…

　それでは再び右に90度回転し、赤い輝きにフォーカスしていると、同じようにまったく同じ形が見えてきます…その形を帯びたものは周囲から来る赤の光よりももっと濃密です…

　それでは再び右に90度回ると、ホワイトブルーの光の面に向いており、そこにも同じように周囲よりも濃密な形を見ることができます…

　それでは左に180度回転すると、純白の面に向いており、そこに同じように濃密な純白の形が見えます…

　それでは左に90度回ると、ウルトラバイオレットの光に面しています…徐々にその面に周囲よりも濃密な光の形が見えてきます…

　それでは再び右に90度回ります…そして今あなたの周りにはあなたを助ける用意ができている4つのアークエンジェルが立っています。あなたからは少し離れていますが、自分が今実際にどこにいるのかを認識しようと真剣にワークしようとしているなら、彼らはあなたを助けようとしており、同時に守護天使からの助けもあります。あなたはそれら4つのアークエンジェルの手に触れようとすべきです…部屋のなかでは誰も一人ぼっちではないことを認識すべきです。…

　あなたの現在のパーソナリティーがそれら全てのアークエンジェルに触れることができるように願います。終わります。

　　　　　　　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

　　いずれにしても、これと同じようなエクササイズは前にも与えましたが、何であれこれから与えるものは以前よりもっと詳細になっています。

直立している正方形を見、それらは部屋の壁を示しています。それらは特定の色の輝きのある面であり、正面には純白の色、右には赤、後ろにはホワイトブルー、左はウルトラバイオレットです。天井は見ません、それは必要ではなく、特に床も見る必要はありません。勿論、部屋にいる間はたとえ自分の正面にフォーカスしている時でさえも地のエレメントにフォーカスしているのです。それゆえに私たちはこれらの光の輝きを創造するのです。これについてこれまで考えたことがありますか？部屋は地のエレメントのなかにあり、どの方角にフォーカスしようとも、地のエレメントにフォーカスしているのです。

　私たちが部屋を出る時には、価値あるものにフォーカスすべく努力します。つまり現在のパーソナリティーはそれら全てのエレメントをマスターし、現在のパーソナリティーの大きなサイクルによって特定された限定された「レベル」において、Lifeの特質を完全に現わす、という意味です。そして私たちは何が上で何が下かを知るようになります。なぜなら、意識的に地のエレメントの上に立っているようになるからです。それは現在のパーソナリティーが意識的にスタートするステートです。

　レッスンのなかで、創造の諸世界において何であれLifeがその本質を完全に現わすためには、それを通じて現わすための人間のイデアフォームとしての元型を使用する必要がある、と言いました。もしそのフォームが使われないなら、Lifeの本質を完全に表現する現れはないでしょう。そのようにして、人間のイデアによって、それ自身の微細なスパークが限界ある現れのなかに入るというステートに到達するのです。一番初めは使いませんが、手段として人間のイデアフォームを手段として、現れはそれ自身を表現するのです。そして現在のパーソナリティーとしての私たちの努力とは、自分自身を現わすために使用しているそれらの手段を再形成することです。そしてそれらの手段とは現在のパーソナリティーの不定形の体と呼ばれているものです。それはサイコノエティカル体です。それを再形成し、人間のイデアのフォームにマッチするものとする必要があります。

　**イデアフォームの元型は天上人によって与えられます。天上人とは誰でしょうか？それはイエスキリストロゴス、汎宇宙的キリストロゴスであり、それはアウタルキーのなかにおける絶対存在の現れです。**一番上のこの大きな三角形は、逆さまのこれと同一形です。それはそれ自身の中でそれ自身を現わしています。そしてこの大きな三角形の一部としてイエスキリストロゴスが創造の諸世界に入ります。ですから、その臨在がこの大きな三角形の頂点に顕現しているのです。

　現在のパーソナリティーは、一番下の大きな三角形にいる間でさえもこのポジションに到達すべきです。いわゆる**最初の磔に到達すると、真の自己（セルフ）に到達します。**勿論それは主(He)です。しかし、私たちは越えることはせず、奉仕するために留まります。それはいわゆるキリスト意識です。

　**ですからイエスキリストロゴスは天上人です。それはたんなる歴史上のパーソナリティーではありません。その体、現象としてのその体は今でも他のシステム、他の銀河において、他の惑星上にあります。数え切れないほどの無数の惑星が今この瞬間においてさえも、その臨在を現象として体験しています。**

今まさにこの瞬間においても。ですから、私たちはHe（＊イエスキリストのこと）はあるレベルの進化に到達した人間で、上から来た何かを現わしていた、などと考えるべきではありません。そうではありません。

　**彼は本当に全体であり、彼は全ての人間のなかにあるスパークであり、また何であれ創造の諸世界で表現されるもの、彼はLifeの海なのです。**

それを認識するのは困難ですが、実際にそうなのです。

**4つのエレメントによって築かれた肉体はLifeのバイブレーションに耐えることはできません。それは自動的に燃えてしまいます。自己実現したパーソナリティーは肉体にある時にはそのレベルのバイブレーションに留まらないでしょう。スーパーサブスタンスのバイブレーションを使うだけです。**

**そしてもしあなたが不可視のヘルパーとして地球の引力から離れる必要があるときには、肉体を背後に残し、他の2つの体を同化させます。サイコノエティカル体をスーパーサブスタンスのバイブレーションである高次ノエティカル体に同化させるのです。**

　そうです、イエスキリストロゴスは天上人であり、絶対存在であり、創造の諸世界にそれ自身を顕現させています。それはまた汎宇宙的キリストロゴスの現れ、それ自身をそれ自身のなかで現わしている絶対存在である、ということができます。しかし、創造の諸世界においては汎宇宙的キリストロゴスの全体はありません；ここから以降は創造の諸世界です。

　イエスキリストロゴスとして、それはスーパーサブスタンスの物質化でした。それによって、他の人間達がその現れ、その存在を受け入れることができるようにです。さもないと、どのようにして「He」は同時に無数の場所で人間と交流することができたでしょうか？

彼は創造の諸世界における汎宇宙的キリストロゴスの顕現です。あなたはHeが絶対存在ではない、と言うことは出来ません。また同時にそれが絶対存在の全体である、ということもできません。勿論、モナドセルフは全体を意味しません、しかしLifeの多重性からの微細な部分であるモナドセルフには全体の能力があるのです。全体が何であれ、今ワンネスとして、絶対存在、神のワンネスが何であれ、多重性のステートのなかには1つの神だけがあります；何であれこのワンネスができることは多重性のなかのモナドセルフですら出来るのです。

　何であれ創造界の中にあるものは、この終わることのないディバインの黙想の動きのなかにあるのです。私たちはこの活動、動きの中の粒子以外の何ものでもないのです。それを認識することはできませんが、しかしそれが真実なのです。Lifeとは活動のないLifeである、とみなすことはできません。Lifeのこの活動の結果として、この終わることのない黙想があるのです；それはディバインの思考です、考えはありませんが、しかしそれは終わりなき黙想です。この活動、それは創造、このLifeの創造のなかの創造、現れとみなされます。なぜなら、この活動は生きており、そこに生命のない物質も含め全ては生きています。しかし何であれ存在し、実存するためには、その中にはLifeがあり、その中には活動、動きがあるのです。この構造とまったく同じように、この動き、活動があります。最小のなかにも、物質の原子のなかにさえあります。しかし勿論、それらには形、人間のイデアフォームの元型はありません。もしそうであったなら、物質の原子からLifeの完全な現れがあったことでしょう。そのようになっています。

　そして、気づきのレベルを高めようとする必要がある、と言う時、それは現在のパーソナリティーの不定形の諸体を再形成しようとすることを意味します。Lifeからより多くを表現するために。これがワークです。その時初めて、不定形の諸体を再形成した時にはじめて、この潜在的可能性の大きなサイクルによって提供されるものを現わすことができるのです。

　そして、He（＊イエス）がこの惑星上の特定の場所に誕生したことは偶然だと思いますか？それは偶然ではありません。彼は三角形の中心に誕生したのです。そして三角形の各コーナーは当時の霊的なセンターを意味します。1つはエジプト、2つ目はメソポタミア、ペルシャ、インドで大部分はペルシャです。そしてもう一つはギリシャです。Heはまさしくこの三角形の中心に生まれたのです。その三角形は大きな三面ピラミッドの底面を形成します。そしてこの三面ピラミッドは、Lifeそれ自身から地球上の人間に与えられたのです；そして私たちは何であれHeが提供しているものを現わすために、ピラミッドをマスターしなければならないのです。

　そうです、他にも助けるために基盤を準備した存在がいます、モーゼのように。それによって、ピラミッドに昇り、マスターするための方法をHeが提供し始めることができるようにです。それは実際に基盤でした、その結果何であれHeが後に提供したものを築き始めるように。それゆえに、Heはその特定の場所に誕生したのです。

**Q:2番目のサイクルではどのくらいの仕事、エゴの側面をどのくらい殺すことができるのですか？**

**K：ゼロです。3番目のサイクルの中ですら、それは生じません。**

3番目のサイクルをマスターした時には真の火の洗礼が始まりますが、それは「ロゴスご自身」によって行われます。3番目のサイクルでパーソナリティーはその方向に向けて準備します、もっとLifeそれ自体から自分を表現することができるように。意識的に生き始めます。そしてそうすることによって、何に真の偉大な価値があり、何には真の価値がないかがもっともっと認識できるようになるのです。**そして、ヘラクレスとしてのパーソナリティー、エゴの様々な側面を殺すことのできるパーソナリティーとなるのです**。

　**そのパーソナリティーが殺し始めるのは4番目のサイクルです；殺すと言う時、それはエゴの様々な側面を完全に除去することを意味します。**

それはつまり、4番目のサイクルをマスターし、自動的に5番目のサイクルが加わるということです。それは同調の能力であり、単に真の5つの感覚を超意識的に使うだけではありません。

　サイクルに入るということ、それはそれを認識すること、ハプニングということではなく、むしろ真の本質を現わすということです。しかし、それはイリュージョンではありません。なぜなら、3番目のサイクルですでにイリュージョンを背後に置いているからです；

3番目のサイクルに入る人は、誰もパワーや能力を現わすためにテクニカルな手段、つまりマジックは使いません。エレメンタルの助けを得るために影にフォーカスする人はおらず、そして影は4番目のサイクルでは完全に消え去ります。

K：この生命の木についてワークする唯一の方法だけがあり、それはHe（＊イエス）が弟子に示した方法であり、勿論それはオープンには知られていません。それが唯一のアプローチですが、あなた方にはそのドアーを開けるためのたくさんの鍵があります。それらの鍵はいわゆる真珠と呼ばれるものであり、それは準備のできていない人には与えられません。それは例えば、あたかもあなたが別の部屋に入りたいと思い、各ドアーの組み合わせが異なっているようなものです。

Q：なぜ右に、左に90度などで回転することはマジック、テクニカルな手段とは見なされず、他の反時計回りはマジックだと見なされるのですか？

Page6

K：あなたに何が与えられると思いますか？それはパワーと能力を提供すると思いますか？

Q：パワーと能力だけを提供することをマジックと見なすのですが？

K：勿論です。

Q：しかし、なぜ時計回りはマジックを提供せず、反時計回りはマジックを提供するのですか？

K：それは聖なるセンターと関係します。私たちはセンターには働きかけません。私たちはまた完全な回転はしません。そうです、常に反時計回りは反対のものに奉仕します。それは何であれサイクル、法則、つまりそのなかにパワーのある創造の諸法則にアプローチする努力なのです。なぜなら、私たちは対立する二元性、バランスの世界に生きているからです。

　時計回りの動きは気づきの上昇の結果として活性化されます。これが違い、大きな違いです。時計回りの動きは努力の結果、あなた自身がそれを回転させるのではなく、それはLifeそれ自体からより多くを現わしている誰かの結果となります。そしてその動きはどんどん加速化されていきます。これが以前のレッスンで私が質問に答えたことです。

　アプローチにしても同じです。最近のレッスンで説明したように、部屋のなかでこれら全ての動きを行う理由は、組み合わせの故です。それらのコンビネーション、組み合わせは、現在のパーソナリティーが今フォーカスしている方向から180度回転するよう現在のパーソナリティーを助けるためです。今私たちは下向きにフォーカスしていますが、真の五感を使うように努力すべきであり、ポイントを上げる、上を向くようにすべきであり、足が上にあり頭が下を向いているのを止める必要があるのです。

　勿論これが生じるためには、あなたの超感覚を超意識的に使う必要があります。

EREVNA PYR NO.1/KE03/04

注：SPAシリーズからPYRシリーズに変わったのは、純粋に事務的な理由からです。